

D－１．成果と課題

(1)既習を使うと新たな問題も解決できることを実感するような指導を考える

かけ算の時に数直線のよさを実感させることで、その後は教師から数直線を書きなさいと言わなくても、自分の考えを持ったり、説明したり、友達を納得させたりするために、数直線を持ち出すようになった。

数直線と言う既習が有効であると児童が実感したからであろう。既習を使えるようにするには、『なぜ？』が『わかった！』になったのは、この既習を使ったからだ」ということを児童が実感し、児童に意識づけていくことが必要である。

今後は、数直線だけでなく、より多様に既習を使える力・豊かな思考をふくらませていきたい。

(2)児童の実態にあったカリキュラムを考える

整数倍で理解を深めた倍の概念を、整数倍 → 小数倍 → 純小数倍 という連続のカリキュラムを編成することで、小数のかけ算の意味（倍に当たる量を求める時にかけ算を使う）がかなり理解できたのではないかと思われる。

ダイナミックにカリキュラムを構成することも大事ではないだろうか。

しかし、単元が大きくなり時間的に長いスパンになってしまった。これからは時間も考えて編成していきたい。

(3)学び合いのある学習の積み重ねをする

	とても		だいたい		あまり		ぜんぜん	
	4月	7月	4月	7月	4月	7月	4月	7月
①算数は楽しい	10.3%	66.7%	46.2%	30.8%	30.8%	2.5%	10.3%	0%
②算数は簡単	28.2%	25.6%	48.7%	48.8%	23.1%	23.1%	0%	2.5%
③学習内容がわかる	25.6%	51.3%	48.7%	38.5%	23.2%	15.4%	2.5%	0%
④友達の話が聴ける	15.4%	61.6%	43.6%	35.9%	38.5%	2.5%	2.5%	0%
⑤自分の考えを聴いてもらう	17.9%	41.0%	35.9%	43.7%	41.1%	12.8%	5.1%	2.5%
⑥ノートに分かったことを書く	12.8%	53.8%	38.5%	41.0%	43.6%	7.7%	5.1%	0%
⑦考える力がついた	10.3%	46.2%	41.0%	48.7%	43.6%	5.1%	5.1%	0%

学び合いのある学習をできるだけ心がけることで、嬉しいことに「簡単か？」以外は、全てプラスの方向に変化していった。

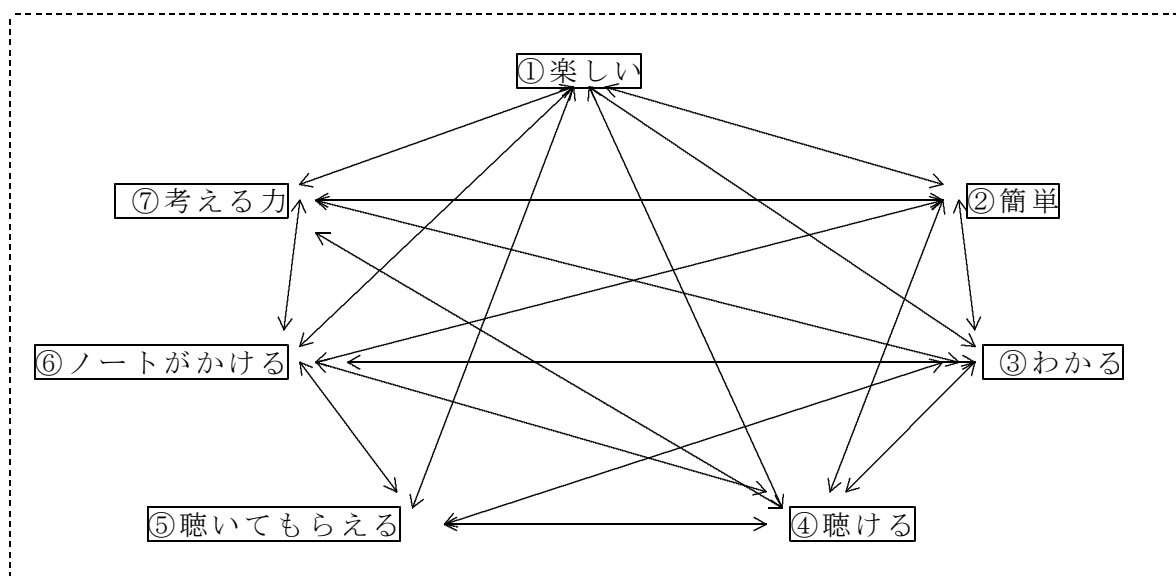
それぞれの項目に対して書いてもらったわけを分析してみた。

まず、ほとんど変化のない「簡単か？」について見てみると、児童の意見が半分に分かれた。簡単になったと答えた児童は、「わかるようになり、楽しくなったから簡単だ」という。これに対して、簡単ではないと答えた児童は、4年生のときよりも学習内容は難しくなっているという。確かにその通りである。ただ、「難しくなったからこそ、考える力がついた」「難しい問題がわかったときが楽しい」というように、難しいことをマイナスとしては受け止めてはいない。

次に、かなりプラスの方向に変化している残りの項目を見てみた。

楽しくなったのは、わかるから・友達の話をしっかり聴いたから・・・etc。わかるようになったのは、友達の話をしっかり聴いたから・ノートに分かったことを書いたから・・・etc。友達の話聴けるようになったのは、聴いていたらわかるから・聴いていると自分の考えが生まれるから・・・etc、予想通り、それぞれの項目はお互いに関連していた。

つまり、②以外の項目のうち、どこかがしっかりできると、他の項目もプラスの方向に変化するということである。そして、学び合いが成立したときに、子ども達は算数がわかり、楽しくなるということである。



学び合いの楽しさは感じてくれたが、まだまだ教師の支援が必要である。いずれは教師がいなくても、学習がスタートし、前時に創られた課題を児童が学び合ってはつきりさせていけるようになってほしいと思っている。少しずつその姿がみられて、学習が始まっていることがあるが、まだまだ考えをまとめたり整理したりすることはできず、道のりは遠い。

(4)評価の工夫改善についての成果と課題

①ふりかえり

まず各自が自分なりのふりかえりを行い、それを出し合って全体のふりかえりをする事は、学びの蓄積となり、新たな課題の解決の手がかりになる。

ふりかえりの時間を確保したり、お互いのふりかえりを見合う事も大切であるが、その時間の確保が課題である。

②自作のテスト

指導したことをみるための思考力を問う自作の問題をすることで、児童の本当の力をみることができた。また、その結果は教師の指導が生きていたか、問題点はないかの評価にもなり、今後の指導に生かすことができる。

しかし、評価問題の内容がそれでベストかどうかの吟味が必要である。